

ルーブル美術館 2018年の入館者が1000万人を突破 過去最高に



5日（土）、パリのセーヌ川（La Seine）沿いにあるルーブル美術館（Musée du Louvre）が、2018年の入館者数が前の年に比べて25パーセント増のおよそ1020万人に達し、過去最高の入館者数を記録した、と発表しました。

世界で最も入館者数の多い美術館

ルーブル美術館は、パリ1区にある国立美術館（博物館）で、1793年に開館しました。世界最大級の美術館で、ユネスコの世界遺産に「パリのセーヌ川岸（Paris, rives de la Seine）」としてセーヌ川やシテ島（Île de la Cité）、ノートルダム大聖堂（Cathédrale Notre-Dame de Paris）などと共に包括登録されています。

相次ぐテロの影響で入館者数は30パーセント減

マルティネス館長によると、度重なるテロの影響により、ここ数年の入館者数は平年を30パーセントほど下回っていましたが、パリの国際的な観光客誘致への取り組みや、2年前より行っていた工事によってより多くの来場者を迎え入れられるようになったことが入場者数回復の大きな理由だということです。

大頭する中国人観光客

全入館者数の内、およそ75パーセントが外国人観光客で、その中で最も多いのがアメリカ人で150万人、そして2番目に多いのが中国からの観光客で100万人となっています。

5年前の段階では、中国人観光客は外国人入館者数の5番目にも入っていませんでしたが、ここ数年で急増してきています。

多い学生の入館者数

また、フランス人入館者数（およそ250万人）の内、およそ22パーセントにあたる56万5000人が学生で、この結果についてマルティネス館長は「テロの後、学校が閉鎖された影響で（ルーブルへ来る人が）増えたのではないか」と話しています。

黄色いベスト運動は影響せず

マルティネス館長によると、毎週末繰り広げられている黄色いベスト運動（La Manifestation de Gilets Jaunes）は、12月8日（土）に閉館したことを除けば、ルーブル美術館の入館者数への影響は出ていないということです。

人々を魅了し続けるルーブル美術館、今年も多くの人で賑わうことでしょう。
ルーブル美術館の公式HPIは [こちら](#)

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

